

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援
2021 年度事後評価結果

グラント番号	JPMJST2151
研究開発課題名	デジタルツインによりセンサレス自律移動を可能にする多重複合センサネットワーク
研究代表者	芝浦工業大学 工学部 教授 新熊 亮一

総合評価

魅力的で有望な技術であり、今後の進展が期待できる。技術的な実現可能性は実証できており、フェーズ1の取り組みとして十分な結果が得られている。残された課題の解決に向けて継続した研究開発の推進による技術の確立とともに、商品化・サービス化へ向けた資金面・技術面の体制強化を期待する。

以上